

かまにし

第91号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

蒲田駅開業120年 記念イベント

五月十八日、十九日には、蒲田駅西口駅前広場にて開業一二〇年記念イベントが開かれました。JR東日本東京吹奏楽団による軽快な蒲田行進曲のメロディーに乗ってオープニングセレモニーが盛大に始まりました。今年、同じく一二〇年を迎えた小淵沢駅、大曲駅の女性駅長さんの参加もあり、花を添えてくれました。



イベントの様子

蒲田駅のビル

「グランデュオ蒲田」は平成二十年（二〇〇八）に新装オープンしました。グランデュオは東日本旅客鉄道株式会社とエイチ・ツー・オーリテイリング株式会社及びその他からの資本構成からなっている商業施設で、ジェイアール東日本商業開発株式会社が発行しています。ネーミングの由来を聞きますと、「グランデュオ」とはGRAND（英語、素敵な）DUO（ドイツ語、二重奏）を組み合わせた造語で、ロゴマークは卵型のG（JR東日本のグリーン）とD（阪急の紫）を組み合わせて、「二つの個性が一つになって、もっと楽しい個性に育てていく」との意味だそうです。十時の開店時に、阪急阪神ホールディングス株式会社である宝塚歌劇団の「すみれの花咲く頃」のメロディーが流れることを皆さんご存じでしたか。

蒲田の繁栄

現在の蒲田の繁栄と言えば、蒲田駅にそびえる東京工科大学と日本工学院専門学校が蒲田キャンパスの存在は見逃せません。もともとは絵画洋裁学校だったのが、テレビ時代を迎えて、昭和三十七年日本テレビ技術専門学校に転換、全国から大勢の生徒さんが集まりました。



開業時のグランデュオ蒲田

蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,939人
	女	30,496人
	計	63,435人
世帯	38,123世帯	

令和6年8月1日現在

「かまにし17」でウェブ検索するとカラー版を見ることができますよ！

「かまにし17」をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。事務局 蒲田西特別出張所 大田区西蒲田七二二二二 電話 373214785



日本工学院専門学校生成成ブロックによる蒲田駅周辺の街並み

おめでとう

JR東日本 蒲田駅開業120年



明治五年（一八七二）十月十四日に新橋駅〜横浜駅に鉄道が開業し、その三十二年後の明治三十七年（一九〇四）四月十一日に蒲田村の寂しい農村・田園の中に蒲田駅（東口）が開業しました。

映画「シン・ゴジラ」でゴジラが最初に上陸したのは、蒲田でした。その蒲田には、二〇二四年四月十一日、二〇二〇年をむかえるJR東日本の蒲田駅があります。大田区役所を有する蒲田、大田区の中心と言えるでしょう。早速、取材に行きました。二〇二〇年企画担当者は、大田営業総括センターの秋谷千鶴さんを中心に十名程のメンバーで、立ち上げました。秋谷さんは大学卒業後旅行会社に入社、出向でJR東日本東京支社にて三年間販売促進の仕事を担当。その後、販売促進の仕事を担当してJR東日本に入社し、蒲田駅に着任されました。「何をやるのか？」と、いろいろ

る考えていくうちに「女性らしい目線」で、地域の皆様が、JR東日本蒲田駅を身近に感じられ、社員一丸となって、「安全を皆様へ届けている」との思いで、西口駅前広場での、イベントへ繋がりました。着々と準備が進んでいるなか、二〇二四年二月十三日に着任された第五十九代駅長村憲治さんの元、当日にむけて、いろいろな方面から、記念グッズの販売提供、グランデュオさんからはビルから

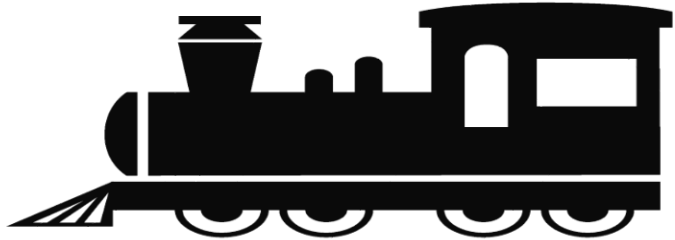


開業120年記念イベント

の懸垂幕や記念商品の販売など、沢山の応援をいただき、盛り上がっていました。村田駅長は昭和四十八年生まれ、高校まで京都育ち。小学四年から野球をはじめ、高校では二年の春、夏と甲子園出場の実績があります。高校・大学では主将を任せられ、卒業後、JR東日本に野球選手として入社。JR東日本硬式野球部では東京ドームで開催される都市対抗野球大会にも出場し主将も任せられました。野球部引退後は、現場での仕事をスタート。品川駅・御茶ノ水駅と現場を経験し、東京支社（現・首都圏本部）で企画部門の仕事も学びました。現在は、約五十名（二〇二四年七月現在）の社員の先頭に立ち、乗車人員一日平均約十二万人のJR蒲田駅を守っています。社員の笑顔とお客さまの笑顔が行きかう駅、働きがいがある職場を目指し日々奮闘しています。

蒲田駅は朝の四時にシャッターを開けることからはじまります。社員全員がオールマイティに仕事ができるように目指しています。車庫から朝一番の蒲田始発四時二十二分、一日の最後の蒲田止最終電五時五十分着、それから一時十五分頃シャッターが閉まり、ようやく蒲田駅も眠りにつきます。

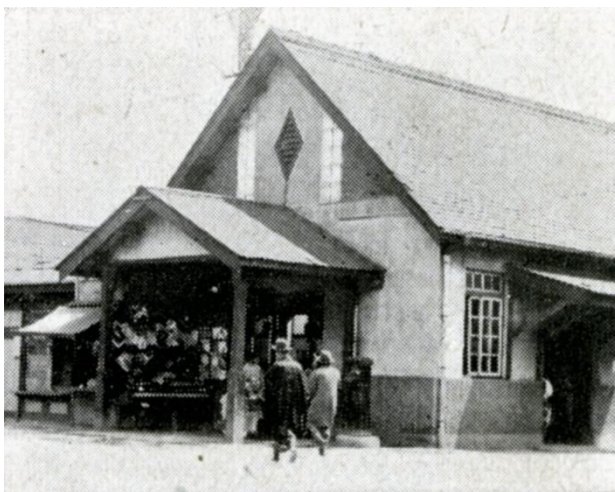
開業120年 JR蒲田駅の歴史



○ホーム発車メロディーは「蒲田行進曲」

平成9年(1997)からホーム発車メロディーは「蒲田行進曲」が使われています。

蒲田行進曲は昭和4年(1929)蒲田撮影所10周年を記念して作られた曲で、'キネマの天地'として栄華を誇る蒲田の様子が軽快なメロディーで歌われています。蒲田撮影所は、大正9年から約16年に渡り蒲田の街に華やぎをもたらした「松竹キネマ蒲田撮影所」、蒲田町史には「松竹キネマ撮影所が出来てからは、断然世界の蒲田に躍進した。(中略)『流行は三越から』が古くなって、『流行は蒲田から』スタートする今日となったのも、偏へに松竹キネマの存在に、価値づけられた結果」と記述されています。



蒲田駅西口駅舎(『蒲田町史』昭和8年、大田区立郷土博物館提供)

○蒲田駅開業の経緯について

開業にあたっては、村民たちの何度もの請願が却下されましたが、村民たちの熱意に打たれやつのことで実現しました。

昼間は、ぽつぽつと乗客の姿が見えたが、日暮れころから夜になると闇に包まれた広大な構内にはちらちらとランプの灯影が揺らめくばかりでした。8時ごろになると全く人影は見られませんでした。一日の乗車人員は約100人であり、その後、見るべき発展もなく、乗車人員は約10年間、ほぼ横ばいで推移したといわれています。

○蒲田駅西口の開業

大正3年(1914)12月10日東京駅開業と同時に京浜線(線名由来:東京の京と横浜の浜 現京浜東北線)が運行開始しました。

電車の運行により、東京、横浜方面への便が良くなったこと等もあり、御園、女塚方面が開け都心に通勤する人も増え、大正7、8年頃から人口が増えました。これらの人々は踏切を渡ることを余儀なくされ1日200回も開閉され、不便極まりなかったのです。陳情を重ねた結果、大正11年(1922)7月2日西口にモダンな駅舎が開業しました。また、大正11年に池上電鉄が蒲田～池上間、大正12年には目蒲電鉄の蒲田～目黒間が開通しました。この頃の乗車人員は約6,000人と増加していきました。その後、増加の一途をたどり駅増改築を行いました。昭和20年(1945)4月15日の大空襲で残念ながら親しまれた駅舎は消失してしまいました。

「鉄道以西発展殆ど停止することなく…女塚踏切における朝夕の混雑……」御園神社に建てられた蒲田駅西口開業の記念碑の碑文がありました。

蒲田駅舎 (昭和10年頃)

2024年 (令和6年)	2019年 (令和元年)	2014年 (平成26年)	2008年 (平成20年)	2004年 (平成16年)	2001年 (平成13年)	1997年 (平成9年)	1987年 (昭和62年)	1981年 (昭和56年)	1979年 (昭和54年)	1970年 (昭和45年)	1965年 (昭和40年)	1962年 (昭和37年)	1949年 (昭和24年)	1945年 (昭和20年)	1904年 (明治37年)	年表
蒲田駅開業120年	びゅうプラザ閉店 ホームドア使用開始 (1番線・4番線)	蒲田駅開業110年	「パリオ」「サンカマタ」が誕生し「GRANDUO蒲田」が創業	蒲田駅開業100年	Suica使用開始	発車メロディーとして「蒲田行進曲」が使用開始	国鉄分割民営化「JR蒲田駅」へ	駅ビル西館改装「サンカマタ」へ改称	駅ビル東館改装「パリオ」へ改称	駅ビル西館が開業	みどりの窓口開設	駅ビル東館が開業	日本国有鉄道が発足「国鉄蒲田駅」へ	大空襲で駅舎壊滅 バラック建てで仮営業継続	4月1日蒲田駅開業	

○みどりの窓口開設

昭和39年(1964)10月10日東京オリンピックが開幕し、東海道新幹線も直前の10月1日に開業。「夢の超特急」の発券は、手作業だったため、長蛇の列となり混乱しました。そこで、マルス(座席予約システム)で処理するよう開発し、全国の拠点駅152駅と交通公社79営業所に「みどりの窓口」が1965年開設しました。

JR東日本蒲田駅提供

○「パリオ」・「サンカマタ」から「グランデュオ」に

JR蒲田駅の駅ビルとして、昭和37年(1962)12月にパリオが東口に地上7階、地下1階建て、昭和45年(1970)にサンカマタが西口に地上10階、地下2階建てでそれぞれオープンしました。駅ビル開業後、約40年経過したため店舗を改装し平成20年(2008)に「グランデュオ蒲田」に生まれ変わり新装オープンしました。

○国鉄からJRへ(民営化)

国鉄は、明治時代以来、日本国有鉄道網を運営していましたが、昭和62年(1987)日本政府は負債を抱えた国鉄を民営化しました。その結果、国鉄はJR 7社に分割されました。

○ホームドア新設

JR東日本では、お客様の列車との接触や線路への転落を防止することを目的としてホームドア導入を推進してきていますが、蒲田駅も令和元年(2019)稼働を開始しました。

○Suica使用開始

総合試験や埼京線でのモニター試験を経て、平成13年(2001)にSuicaが導入されました。導入後、パスケースから定期券を出す必要なく、タッチで改札口を通過でき、チャージ機能を利用すれば券売機で切符の購入が不要になりました。鉄道利用以外にも電子マネー機能により、コンビニや多くの店舗での買い物等でも利用でき、ライフスタイルを変えました。



松竹キネマ蒲田撮影所(『蒲田町史』昭和8年、大田区立郷土博物館提供)

○参考文献

- ・「蒲田駅五十周年」を迎えて蒲田図書館所蔵
- ・「蒲田町史」蒲田駅前図書館所蔵
- ・みどりの窓口を支える「マルス」の謎 草思社
- ・ペンギンが空を飛んだ日 交通新聞社